

令和5年度 学校経営方針

市川市立塩焼小学校
校長 大熊 和男

1 学校教育目標 「未来を拓く力の育成」
～ 体を鍛え、書を読み、心を耕す ～

2 基本方針

子ども一人一人が自らの未来を切り拓く為に、主体性を育む教育を推進していく。また心豊かな教育の為に体験活動を重視するとともに、交流を意識した活動を推奨していく。

校長として教職員が教育活動に専念できる環境を整えるとともに、学校・保護者・地域が互いに尊重し合う関係性を築き、良好な学校運営となるように舵取りをする。

さらに、地域が求める塩焼っ子像“あいさつができ、思いやりをもった子”を目指しながら、教職員の人材育成にも傾注していく。

テーマは継続して“希望の登校、笑顔の下校”とする。

【めざす児童像】

- | | |
|----------------|-------------|
| し→「調べ、読み、考える子」 | 主体的に学びに向かう |
| お→「思いやりのある子」 | 相手を意識して行動する |
| や→「やり遂げる子」 | 粘り強く課題に取り組む |
| き→「きたえる子」 | 生き生きと活動する |

【めざす教職員像】

- ①子どもの思いを大切に行動できる教職員 (受容、傾聴、共感)
- ②自己研鑽を惜しまない教職員 (研究・修養、わかしお塾)
- ③「チーム塩焼」として同僚性を高める教職員 (協働、リーダー育成)
- ④保護者・地域に信頼される教職員 (不祥事根絶、丁寧な言動)

【めざす学校像】

- ①子どもにとって、毎日行きたい学校 (ワクワク感がある)
- ②教職員にとって、働きたい学校 (やりがいがある)
- ③保護者にとって、協力したい学校 (安心感がある)
- ④地域にとって、応援したい学校 (関心がわく)

3 重点目標

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| (1)教職員の指導力向上でわかる授業づくり | (5)自らの身を自ら守る安全教育と健康教育 |
| (2)主体的に学びや活動に向かう児童の育成 | (6)積極的な情報発信で信頼される学校づくり |
| (3)特別支援教育の理解と支援体制の充実 | (7)業務見直しとICT活用で働き方改革の推進 |
| (4)学校と保護者が協力した豊かな読書活動 | (8)学校運営協議会の推進と地域の連携強化 |

4 具体的な方策（目指す児童像や重点目標の具現化）

(1) 確かな学力を育む 「㊦ 調べ、読み、考える子」

- | | | | | |
|-------------|-------------|------------|---------------|--------|
| ア わかる授業づくり | ・ユニバーサルデザイン | ・教科担任制 | ・研究授業 | |
| | ・ICT活用 | ・プログラミング教育 | | |
| イ 特別支援教育の充実 | ・インクルーシブ教育 | ・個別の指導計画 | ・交流教育 | |
| ウ 豊かな読書活動 | ・日課時程の工夫 | ・図書館活用 | ・教科横断 | ・読み聞かせ |
| エ 言語活動の充実 | ・主体的、対話的な学習 | ・新聞活用 | ・日常の振り返り&スピーチ | |
| オ 家庭学習の習慣化 | ・自学力向上 | ・タブレット活用 | | |

(2) 豊かな心を育む 「㊧ おもいやりのある子」「㊨ やり遂げる子」

- | | | | |
|-----------|-----------------------------|--------------|----------|
| ア あいさつの定着 | ・主体的な取り組み（あいさつ週間） | | |
| | ・大人から（教職員・妙典中ブロック・学校ボランティア） | | |
| イ 道徳教育の充実 | ・児童理解（実態把握と情報共有） | ・ピアサポート | |
| | ・おもいやりのある言葉づかい | ・互いの良さを認め合う心 | |
| ウ 特別活動の充実 | ・異学年交流（たてわり活動） | ・行事内容の改善 | |
| | ・キャリア教育（委員会・当番・係活動） | ・幼・小・中連携 | |
| エ 体験活動の充実 | ・ゲストティーチャー | ・地域教育力の活用 | ・校外学習の充実 |

(3) 健やかな体を育む 「㊩ きたえる子」

- | | | | |
|------------|----------------------------|---------------|--|
| ア 体力向上 | ・ヘルシースクールの推進 | ・正課体育の充実 | |
| | ・しおやきタイムの工夫 | ・遊・友スポーツランキング | |
| イ 安全教育 | ・危険予測、回避能力の育成（けが、交通事故、不審者） | | |
| | ・防災・防犯訓練（火災、地震、津波からの避難意識） | | |
| ウ 望ましい生活習慣 | ・感染症予防の日常化 | | |
| | ・早寝・早起き・朝ごはん | ・保護者との連携 | |
| エ 食育の推進 | ・食物アレルギー対応 | ・栄養士の授業参加 | |

(4) 信頼される学校づくり

- | | |
|--|--|
| ア 心に響くメッセージを発信し、命を大切にする教育の推進（学校だより、全校集会） | |
| イ 情報の積極的な公開（ホームページ・ブログ・メールの活用） | |
| ウ 学校評価を生かす（アンケート結果・成果と課題の公表、教育相談の充実） | |
| エ 業務改善で働き方改革（時間創出、経営参画、ボトムアップ型提案） | |